

# 「次代を担う自立した青少年の育成に向けて」

## ～青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促す方策について～

(平成19年1月 中央教育審議会 答申)(概要)

### 基本的な考え方

・青少年には、社会的存在として一定の役割を担おうという「自立への意欲」を持つことを期待。  
 ・我が国社会の活性化・持続的発展のため、大人の責任として社会全体で、すべての青少年に「自立への意欲」を持たせ、成長過程全体にわたる心と体の調和の取れた成長を促すべき。

### 現状と課題

「意欲に欠ける」状態  
 ・それぞれの状態に応じた手当てが必要。  
 ①基礎的な体力の低下・不足  
 →正しい生活習慣、運動習慣の確立・定着  
 ②青少年の価値観等と社会的期待の相違  
 →社会的に期待される価値観・判断基準等の実社会とのかかわりを通じた学習  
 ③意欲から行動に移る段階でのつまずき  
 →必要な手段方法の体験を通じた学習

青少年の生活実態

・「自立への意欲」の減退に影響しており、改善が必要。  
 ①基本的な生活習慣の乱れ  
 ②希薄な対人関係  
 (親の子どもへの関与、地域の大人の青少年への関与、仲間との交流)  
 ③直接体験の少なさ(運動・スポーツ、自然体験)  
 ④情報メディアの急速な発展に伴う問題(犯罪被害等、社会性等への影響)

### 提言

家庭・学校・地域社会・企業等のすべての大人が自らの課題として受け止め、積極的に行動することを期待。

〔視点〕

〔方策〕

	<p><b>1. 家庭で青少年の自立への意欲の基盤を培おう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の自覚、父親の積極参画</li> <li>・家事分担による生活体験の充実</li> <li>・保護者の「仕事と生活の調和(ワークライフバランス)」の実現</li> </ul>	<p><b>2. すべての青少年の生活に体験を根付かせ、体験を通じた試行錯誤・切磋琢磨を見守り支えよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な体験活動の機会の提供</li> <li>・試行錯誤・切磋琢磨の支援</li> </ul>	<p><b>3. 青少年が社会との関係の中で自己実現を図れるよう、地域の大人が導こう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会への関心・興味の育成</li> <li>・地域の大人を親・教師に次ぐ「第三の保護者」として位置づけ、青少年健全育成へ参画促進</li> </ul>	<p><b>4. 青少年一人ひとりに寄り添い、その成長を支援しよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンスの発想に立った青少年一人ひとりの成長支援</li> <li>・学校の相談体制整備や連携サポート体制の充実</li> </ul>	<p><b>5. 情報メディアの急速な普及に伴う問題へ大人の責任として対応しよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有害なコンテンツの排除、社会のルール・マナー等が学べる良質なコンテンツの作成促進</li> <li>・発信者と受信者の協同による情報メディア環境の改善</li> <li>・携帯電話を利用した犯罪等から青少年を守る取り組みの推進</li> </ul>
	<p>①実践的な調査研究を通じた啓発  <i>(生活習慣の健康・意欲への影響調査、体力向上方策研究)</i></p> <p>②国民運動の展開  <i>(望ましい生活習慣の確立・子どもの体力向上の啓発)</i></p>	<p>①多様な体験機会の青少年の生活圏内での提供  <i>(「放課後子どもプラン」「総合型地域スポーツクラブ」「伝統文化子ども教室」等、学校での運動習慣づくり、青少年団体の活性化)</i></p> <p>②青少年教育施設による体験活動の提供  <i>(国立青少年教育振興機構の機能強化、幼児向け自然体験・小中学生のサマーキャンプ・高大生のリーダー育成)</i></p>	<p>①大人の生き方から学ぶ機会の提供  <i>(職業体験活動の充実、先輩・地域の大人との交流体験の提供)</i></p> <p>②青少年の努力・社会貢献の評価  <i>(機運の醸成、取組の普及)</i></p> <p>③地域の大人の参画・連携の促進  <i>(大学生・高齢者等の参画支援、総合型地域スポーツクラブと学校の連携、自然体験活動関係者・団体のネットワーク化)</i></p>	<p>①指導者の意識涵養と指導者の育成  <i>(ユースサポーター(仮称)の育成、研修機会の提供)</i></p> <p>②学校の相談体制整備や連携サポート体制の充実  <i>(スクールカウンセラー等の配置等、民間団体等と連携した相談体制の充実、科学研究成果の教育現場への応用)</i></p>	<p>①青少年健全育成に資するコンテンツづくりの促進  <i>(自主規制実態の情報公開、第三者機関によるコンテンツの質の評価の促進)</i></p> <p>②発信者・受信者が協働できる情報メディア環境の形成  <i>(BPOの活用促進、業界・青少年育成団体・行政機関等のネットワーク構築)</i></p> <p>③青少年一人ひとりに届くメッセージの発信  <i>(携帯電話へのフィルタリング標準装備の促進、各学校の携帯電話持ち込みルールの策定、保護者の学習機会の確保)</i></p>